

うたしない

# 市議会だより

## 第43号

歌志内市議会  
議会報編集委員会

発行年月日 平成28年8月1日



行政常任委員会で郷土館ゆめつむぎを視察

### 議会の動き

#### 定例会の開催

6月15日～16日までの2日間定例会が開催されました。

15日は、報告4件、議案8件が審議され、16日に議員3名の一般質問と意見書10件が審議され閉会しました。

● 図書館の管理運営状況について（現地視察含む）

● 郷土館の管理運営状況について（現地視察含む）

▽5月27日

● 公共施設、公用車に係る燃料の購入状況について

● 企業誘致の取り組み状況について

● 中小企業振興保証融資事業の状況について

● 有害鳥獣対策について

● 生活保護の現況について

● 母子自立支援、家庭児童相談の現況について

● 介護保険事業の現況について

● 社会福祉協議会への委託事業の状況について

#### 行政常任委員会報告

委員長 女鹿 聡

▽4月21日

● 奨学金及び就学援助の状況について

● 学校支援地域本部事業の取り組み状況について

● 食育指導の状況について

● コミュニティセンターの管理運営状況について

（現地視察含む）

平成28年  
第2回定例会  
6月開催

### もくじ

- 議会の動き……………1P
- 行政常任委員会報告……………1P
- 一般質問…2～3P
- 議案について……………3P
- 可決された意見書……………4P



湯浅 礼子

歌志内市総合計画の  
推進について

質 基本計画、重点プロジェクトに関し、市民が実感でき又、直接参画できる具体的活動について。

答 重点プロジェクトは、分野の異なる施策や事業を一体的に行うことで総合的な成果をあげることが目指しており、プロジェクト毎に課題を掲げています。

これらの施策や事業を展開する上で、市民参画の推進を意識し、「情報共有」と「市民参加」の視点から、あらゆる世代や団体等と意見交換を行うため、懇談会や情報交換会などを実施しています。

女性が輝く社会の  
実現について

質 「歌志内市まちづくり」のため、女性起業家の育成・青年起業家育成、また、当市の女性管理職登用にむけた取り組み、考え方について。

答 管理職への登用は、基本的に男女の区別なく、経験年数や適性、仕事に対する取り組み方などを見極めながら行

っています。

平成28年4月1日現在、市長部局で3名、監査委員事務局で1名の計4名、市立病院2名合計6名の管理職が在職。管理職における女性の比率は18・2%。

質 出産・育児期の女性が働き続けるための保育所の整備として認定こども園の計画の進捗状況について。

答 認定こども園の開設に向け、平成27年10月、庁内にプロジェクト委員会を設置。これまで同委員会を5回、子ども・子育て会議を1回開催。

先般、認定こども園の基本実施計画を行う業者を決定するためのヒアリングを実施し、7月中に基本設計案が業者より示される予定。今後は、教育委員会との連携を密にしな

がら、幼稚園・保育所職員からの意見はもとより、両施設の保護者、子ども・子育て会議の委員からの意見や市民意見の公募なども行い、その内容を基本設計案に反映させ、総合戦略に掲げるオンリーワンの子育て・教育の実現が果たせるよう取り組んでいきます。



めが さとし

プール使用状況について

質 昨年と比べてバス運行状況は変わっていないと思うが。

答 昨年は赤平へ10回。今年は赤平8回と奈井江に3回。

質 利用見込みは。

答 昨年と同様に約70人位だと考えている。

質 市内にプールがあったから毎日プールに行っていたという子ども達が多かったと思う。バスの運行が決められた日ではプールに行きたくても行けない子どもが出てくる。

プールが無くなったのだから毎日バスを運行させるべきではないか。

答 毎日の運行は難しい。

質 毎日バスを走らせてほしいとの声を保護者から聞く。

去年の運行状況を考えても、今年は毎日運行してもらいたいと思っている保護者がいる。

答 教育委員会に保護者からはその様な声は入っていないが、今年の利用者の声を聴きながら柔軟に検討していく。

質 保護者の中からは「意見を言っても反映されないから無駄だと思っている」「無く

した施設に対して、その後のケアがあまりにも不誠実だ」と言った声もある。

教育委員会や行政がプール  
事業にどう向き合っているか

大事なことだ。保護者もプールをすぐ作れないことはわかっている。だからプールのことについてもっと真剣に考えて頂きたい。

答 以前のアンケートでもプールが必要との意見も確かにあったが、建設費の面などからバスの運行などで対応していくことになった。

今後送迎に関しても意見があれば対応していく。

質 毎日バスの運行をしていただきたいと言っているのが保護者の願い。なぜ毎日バスの運行が出来ないのか。

答 バスは他の事業等に使用されていることもあり、その中で最大限この回数を確保した。今後、意見があれば、その都度対応しながら取り組んでいく。

質 バスが運行されていない日に保護者から、運行してくださいと言われたら対応してくれるのか。

答 今年度は難しい。



下山 則義

歌志内市のPR・情報・  
魅力発信について

質 当市のホームページで歌志内魅力発信プロモーション映像を見ることが出来るが、この映像で、移住・定住・交流人口等当市に与える影響は。

答 当市の魅力ある観光資源を国内外に情報発信するため、インターネット動画サイトを活用し公開している。映像を見て興味を持たれた方が、一人でも多く来ていただき交流人口・地域の活性化に結び付けばと考えている。

質 中部大学野球部が夏の合宿で当市の宿泊施設を利用すると聞いているが、決定までの経緯について。

答 決定した要因は、宿泊施設の料理やおもてなし等が高い評価を得たこと。昨年、野球部監督への直接の売込みが、功を奏したと聞いている。

教育の充実について

質 小学校低学年から導入する英語授業について伺います。

答 小学校1年生から4年生までは、年間20時間の英語授業を今年度から実施。

# 一般質問



議長 川野敏夫

耳から入る英語の音に慣れ親しむことを第一とし、そこから簡単な日常会話へと可能性が広がるものと考えている。

**質** 中学生を対象としたチャレンジキャンパス（公営学習塾）について、授業の内容や講師の人選等、具体的に伺う。

**答** 授業内容は、国語・英語・数学の3教科で、基本的な内容を学習し、苦手な学習内容を補うことや学校の授業だけでは理解できなかった部分を学び直す内容を予定。

**質** 認定こども園開設に向け、保育の中で質の高い教育を実施するために、保育所と幼稚園の先生の連携について。

**答** 認定こども園の開設に向け、子どもたちに質の高い教育・保育を提供するには、幼稚園・保育所職員の連携が不可欠です。

現在、両施設において、市民祭り・地域合同大運動会・給食の試食会などを連携しているが、可能な交流事業を増やし、連携を深めていく。

幼稚園・保育所職員からの意見はもちろん、保護者や市民の意見も取り入れていく。

\*平成28年第2回定例会提出議案について、お知らせいたします。議案8件、報告4件がありそのうち質疑された議案について記載いたします。

一、報告第11号株式会社歌志内振興公社第33期事業報告及び第34期事業計画について

**質** 第33期（平成27年度）の黒字要因は燃料単価の下落と

思うが、利用状況の分析から第34期の集客や収入増は本当に見込めるとの報告をうけているのか。

**答** 収入の根幹となる日帰り入浴客については一昨年のリニューアル以降安定した数字で推移をしている。また、今期の収入見通しとして8月に中部大学野球部合宿の受け入れ、新たな宿泊イベントの実施による収益の増、当初予算A重油購入単価の見込みを現状より高めに設定し、減収になつていないレストラン部門のメニュー見直しを行い収益増が見込まれると確認している。

**質** 従業員が減少しているがサービス低下に繋がることを市としてどう捉えるか。

**答** 現在振興公社では、レストラン部門でベテランスタッフが相次いで退職した。新しく採用して対応しているが長続きしない。厨房レストラン部門のみスタッフをハローワークに求人している。市としてもスタッフ不足の解消は重要であり広く人材確保に努めるよう指示している。

**質** 第1回定例会で監査報告として「事務取扱規定が未整備で会社運営が適切でない」

「出納関係で組織の内部統制を図る経理規定が未整備の中間理処理が行われていた」と報告されたが、第33期での改善状態は報告されたのか。

**答** 財政援助団体である歌志内振興公社に対する、監査からの指摘事項である事務取扱規定及び経理規定の未整備については、第33期、平成27年度中に整備を進め、本年4月1日より運用されると報告されている。

**質** これらの規定の未整備については、2、3年前から指摘されていたはずだが今期からの運用では対応が遅いのではないか。根本的にそれが振興公社の問題であり早期の改善

が必要だったのでないか。

**答** 振興公社の作業が遅れていたのは事実です。ただし収入支出に関する伝票の整理、書類の不備などは適宜改善してきた。既定の未整備が会社の経営に影響があった部分を指摘されるが、このたび規定について整備されたので今後これに基づいてしっかりと経営されるよう話をする。

**質** 33期の報告と34期の計画があまり変わっていない。せっかく内部が変わったのであれば、事業計画の中身も向上していなければ、集客、収益に繋がらない。株主の立場で市として考えは。

**答** 以前には専従の社員にて振興公社内部で事務的処理がされていた。しかし運営が厳しい状態になって、公社の社員が縮減されてきた。現在は行政がサポートしながら対応しているが、将来的には専従の社員が配置されながら経営に干渉していくのが望ましいかと思うが、公社単独では負担が大きいのも理解できるので、今後行政として株主としてどう整備していくか大きなポイントとして捉えている。

二、議案第44号平成28年度歌志内市一般会計補正予算（第3号）について

**質** 年金生活者等支援臨時給付金給付事業132万円の補正について、対象者の抽出方法の誤りとのことだが、

①対象者は全体で何人か、何人が漏れていたのか。  
②ミスの原因は。  
③今後の対策は。

**答** ①全体で794名で、昭和生まれの65歳以上としたので、大正生まれの44名が漏れていた。

②昨年の給付対象者からの抽出作業を一人で行ってしまった他の職員の確認のないままに進めてしまったのが原因と考

える。  
③今後はこのようなミスのないよう必ず複数の職員が確認して行うようにする。



7月8日中空知ふるさと市町村圏議員交流会の様子



## 「故 田村武史議員を偲んで」



5月臨時会において4月16日に亡くなられた田村議員に対し、市議会を代表して本田加津子議会運営委員長より追悼の言葉が述べられましたので、掲載いたします。

## 追悼の言葉

皆様のお許しをいただき、歌志内市議会を代表して、去る4月16日に亡くなられた故田村武史議員を偲び、謹んで哀悼の言葉を申し上げます。

ただいまこの壇上に立ち、皆様と相対するとき、田村さんが座っていた2番議席には今はもう田村さんの姿はなく、ひそやかに花が飾られており、寂しさがこの議場を満たし、悲しみがひとしお胸に込み上げてまいります。

平成28年4月16日、午前1時53分、64歳という若さで、志半ばというときに、忽然として余りにも早く、再び帰ら

ぬ旅路につかれたのでありません。

ここに深く田村さんの死を悼み、同僚議員とともに追悼の意を表すものであります。昨年7月、田村さんは体の不調を訴えられ、入院し、その後は入退院を繰り返しながら療養される中であって、今年の2月には常任委員会に出席されるなど、一時は快方に向かっているとの話を聞き、一日も早い全快を議員一同心待ちにしておりました。

しかし、全快の祈りもむなしく、田村さんの突然の死は、看護の全てを尽くされ、ただ一心にご快復を祈っておられましたご遺族のご心痛を推察すると、お慰めの言葉もありません。

田村さんは、昨年4月、市議会議員に初当選され、行政常任委員会副委員長などを務められ、1年間の議員活動ではありましたが、歌志内市の発展のため、また住民福祉の向上のために心魂を傾け尽くされ、今後の市政の円滑な推進に、さらなるご活躍をいただけるものと期待しておりましただけに、歌志内市にとっても我々市議会にとっても大

きな損失であり、誠に残念であります。

また、奥様と4人のお子様を残され、さらには志半ばでこの世を去らなければならなかった田村さんの胸中を察するとき、余りあるものがあります。

今ここに、田村さんがこの世を去り、目指した願いを成し遂げられない無念を思うとき、私たちは心を新たにし、田村さんの死を悼みながらもこの悲しみを乗り越え、志半ばにして旅立たれた田村さんの遺志を引き継ぐことをお誓い申し上げます。

奥様を始めご家族の皆様には、悲しみを乗り越えて、これからの人生を歩んでくださいますようお願いいたします。

本日、ここに在りし日の面影を偲び、生前のご功績をたたえつつ、心からのご冥福を申し上げます。まして、歌志内市議会を代表し、追悼の言葉といたします。



## 可決された意見書

- 骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書
- 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書
- 食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 平成28年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しとすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書
- 「要介護1・2」の「保険外し」を中止し、安心・安全の介護保障を強く求める意見書
- 子ども医療費助成に係る国保の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書
- 診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求める意見書

※これら10件の意見書は6月16日に議決し、内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長、その他関係機関へ送付されました。

## 一部事務組合議会

▽5月9日  
石狩川流域下水道組合議会  
第1回臨時会 谷議員

## 編集後記

暑さも本番になり、体調管理が難しくなる季節です。  
部屋の中にもきちんとして水分補給を行って元気に短い夏を過ごしましょう。  
編集長 めが